

【小学校算数 学習単元評価問題 小4 - 】

「式と計算の順じょ」	()組 ()番	氏名
------------	--------------	----

考え方 / 3	技能 / 4	知・理 / 3	A問題 / 9	B問題 / 1	/ 10
---------	--------	---------	---------	---------	------

- 1 つばさくんは、「 $24 \div (2 \times 4)$ 」の計算の順じょを考えて計算し、そのしかたを下のように説明しました。
次の問題について答えましょう。

「 $24 \div (2 \times 4)$ 」
 ()はさきに計算するので、
 $2 \times 4 = 8$, $24 \div 8 = 3$ となります。
だから、答えは3になります。



「 $24 + 2 \times 4$ 」の計算の順じょを考えて計算し、そのしかたを説明しましょう。説明は、つばさくんの説明と同じように、「～^{せつめい}ので」「だから、答えは」ということばを入れてかきましょう。

ので、

だから、答えは 。

〔1〕〔知・理〕〔A問題〕

- 2 にあてはまる数をかきましょう。

(1) $36 + 17 + 13 = 36 + (17 + \text{□})$

(2) $26 + 57 + 74 = 57 + (\text{□} + 74)$

(3) $(37 \times 25) \times 4 = 37 \times (\text{□} \times 4)$

(4) $(20 + 14) \times 5 = 20 \times \text{□} + 14 \times 5$

〔2〕～〔5〕〔技能〕〔A問題〕

【小学校算数 学習単元評価問題 小4 - 】

「式と計算の順じょ」

解答例及び評価規準，評価の観点，設定通過率一覧

問題 番号	解 答 例	評価規準	評価の観点等					設 定 通過率 (%)
			考 え 方	技 能	知 ・ 理	A 問 題	B 問 題	
{ 1 }	たし算とかけ算のまじった式ではかけ算をさきに計算するので、 $2 \times 4 = 8$ 、 $2 \times 4 + 8 = 32$ 、だから、答えは32になります。	四則計算の混じった計算の順序を十分理解している。 〔 評価の観点 かけ算をさきに計算 計算の式、答えが正解 、 を満たしていれば正答 〕						90
{ 2 }	13	加法の結合法則のきまりを用いて、手際よく計算することができる。						90
{ 3 }	26	加法の結合法則のきまりを用いて、手際よく計算することができる。						90
{ 4 }	25	乗法の結合法則のきまりを用いて、手際よく計算することができる。						90
{ 5 }	5	分配法則のきまりを用いて、手際よく計算することができる。						85
{ 6 }	$25 \times (4 \times 8) = 800$	計算のきまりを用いて、工夫して簡単に処理する方法を考えることができる。						85
{ 7 }	$= (100 + 5) \times 12$ $= 100 \times 12 + 5 \times 12$ $= 1200 + 60$ $= 1260$	計算のきまりを用いて、工夫して簡単に処理する方法を考えることができる。						80
{ 8 }	$= 86 - 25$	加法と減法の相互の関係を理解している。						80
{ 9 }	$= 48 \div 6$	乗法と除法の相互の関係を理解している。						80
{ 10 }	みらいさん～ ㊦ ただしくん～ ㊧ 〔完全正答〕	式の表す数量関係を、式と図を結びつけて考えることができる。						80
合計 10 問			3	4	3	9	1	85.0